

特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構 (NPO-JROSG)

平成 20 年度 第 4 回理事会議事録

1. 開催日時：平成 21 年 4 月 19 日（日） 13：00-14：00
2. 開催場所：パシフィコ横浜 会議センター：316号室
3. 出席者（委任状提出を含む） 16 名
4. 出席者氏名 12名
三橋紀夫、西村恭昌、早川和重、秋元哲夫、小口正彦、加賀美芳和、中野隆史、
田中良明、晴山雅人、平岡真寛、不和信和、山下 孝、
5. 委任状提出者 4名
池田 恢、辻井博彦、早瀬尚文、山田章吾
6. 欠席者氏名 0名
7. 審議事項
 - (1) 第一号議案 議長の選任
 - (2) 第二号議案 会員数ならびに会費の納入状況について 【資料 2, 3, 4, 5】
 - (3) 第三号議案 中間会計報告について 【資料 6】
 - (4) 第四号議案 理事の改選について 【資料 7】
 - (5) 第五号議案 組織の変更について 【資料 12】
 - (6) 第六号議案 効果安全性評価委員会の新メンバー承認について
 - (7) 第七号議案 JROSGと平岡班の臨床試験共同運営について
 - (8) 第八号議案 運営委員会活動について
 - (9) 第九号議案 教育・広報委員会活動について
 - (10) 第十号議案 各種部位別委員会活動について 【資料 8, 9, 10】
 - (11) 第十一号議案 総会の日程について
 - (12) 第十二号議案 来年度予算案ならびに事業計画について
 - (13) 第十三号議案 事務局の変更について
 - (14) 第十四号議案 その他

8. 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 第一号議案 議長ならびに議事録署名人の選任
議長に三橋紀夫氏を選出した。また、議長より田中理事ならびに平岡理事を議事録署名人にお願いしたいとの提案があり、全員異議なくこれを承認した。
- (2) 第二号議案 会員数ならびに会費の納入状況について
資料2-5に基づき理事長から4月9日現在個人会員223名、賛助会員15社、臨床試験参加施設72施設との説明があり了解された。
会費滞納者の状況について理事長から説明があり、定款に継続して3年以上会費を滞納したときは会員の資格が喪失されると明記されていることから、3名については会員資格喪失とした。
会費の納入についてはホームページからオンラインで納入するシステムがすでに稼動している。
- (3) 第三号議案 中間会計報告について
資料6に基づき理事長から平成20年度上半期の経常収支報告ならびに4月1日で事務局は移転した旨の説明があり、承認された。
また、晴山JASTRO前会長から本年度中に250万円の寄附の申し出があった。
- (4) 第四号議案 来年度理事の改選について
理事ならびに監事の任期が平成21年6月30日で切れるために、役員改選が必要となる旨の説明が理事長からあり、討議の結果、役員立候補をホームページ上で受け付けることにした。
- (5) 第五号議案 組織の変更について
運営委員会の活動と役割を明確にするために組織図の変更が理事長から提案され、資料12のように変更することが承認された。
- (6) 第六号議案 効果安全性評価委員会の新メンバー承認について
加賀美効果安全性評価委員会委員長から新メンバー（伊藤芳紀、宇野 隆、権丈雅浩、古平 毅、塩山善之、戸板孝文、中山優子、前林勝也、吉岡靖生、萬 篤憲）の提案があり承認された。なお、副委員長は宇野 隆先生に決定したとの報告があった。
- (7) 第七号議案 JROSGと平岡班の臨床試験共同運営について
泌尿器腫瘍委員会で提案している「前立腺癌に対する寡分割照射」の臨床試験をJCOGとJROSGとの共同研究とする可能性について検討したが、現状ではJCOGとの

共同研究は不可能との結論となった。また、厚労省科学研究費や厚労省がん助成金による研究事業とJROSGとの共同研究についても検討されたが、いずれもJROSGの現状を考慮すると可能性が乏しいとの結論となった。以上から、「前立腺癌に対する寡分割照射」の臨床試験はJCOGの研究として実施することが了解された。

(8) 第八号議案 運営委員会活動について

ホームページの更新、バナー広告、オンライン決済などホームページの充実を図っているとの報告が秋元委員長からあった。

(9) 第九号議案 教育・広報委員会活動について

ホームページのトップに「臨床試験とは?」、「放射線治療Q&A」のサイトを作成して啓蒙活動を行っていること、出版事業や市民公開講座についてはまだ実現していないとの報告が小口委員長からあった。これに対して一般人の教育や広報活動をさらに積極的に行って欲しい旨の要望が三橋理事長からあった。

(10) 第十号議案 各種部位別委員会活動について

1) 肺・縦隔委員会

現在進行中のJROSG 07-1に有害事象がでており、部位別委員会を開催して対応を協議した結果、登録を一時中断して、効果・安全性委員会で検討してもらうことにしたとの報告が早川委員長からあった。

2) 婦人科腫瘍委員会

JROSG 04-2の付随研究である放射線骨壊死の予後調査を行うことについてのプロトコル上の整合性について中野委員長から検討の必要性があるのかとの質問があったが、晩期有害事象の1つであるためプロトコル上は問題ないことを確認した。

3) 乳腺腫瘍委員会

JROSG 05-5の症例集積が進んでいないとの報告があった。

4) 消化器腫瘍委員会

JROSG 05-2の修正プロトコルが根本先生から提出されたので、臨床試験委員会が審査を近日中に開始するとの報告が小口臨床試験委員会委員長からあった。

5) 小児腫瘍委員会

正木委員長から後日報告するとの連絡があり、別添のごとく4月22日に報告書が提出された。

6) その他

資料8に記載されているプロトコルの進捗状況の表に間違いがあるので訂正が求められ、事務局で正しい状況の表を作成することとした。

(11) 第十一号議案 総会の日程について

総会は7月25日(土)に国立がんセンター国際研究交流会館で13時から、また10時から理事会を開催することが決定した。

(12) 第十二号議案 来年度予算案ならびに事業計画について

理事長が今年度の事業や収支を検討して、来年度事業計画案ならびに予算案を作成して理事会をメール会議で行い総会までに決定することにした。

(13) 第十三号議案 事務局の変更について

本年4月から事務局が〒102-0084 東京都千代田区二番町2-1 二番町TSビル 株式会社メディカルトリビューン内 TEL: 03-3239-7264 FAX: 03-3239-7225に変更になった。

(14) 第十四号議案 その他

1) 教科書の出版について

企画会議を行ったが、教科書出版の最終結論がまだ出版社で出ていないために、出版社の結論待ちとの報告があった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成27年 5月 25日

議長

三橋 紀夫



議事録署名人

田中 良明



議事録署名人

平岡 真寛



JNBSG（日本神経芽腫治療研究グループ）臨床試験進捗報告

- 高リスク神経芽腫に対する標準的集学的治療の後期第Ⅱ相臨床試験
平成 21 年 2 月末日をもって新規登録を終了する。
- 進行神経芽腫に対し原発巣切除術を含む局所療法を大量化学療法に遅延させて行う治療の早期第Ⅱ相臨床試験
試験終了。登録 11 症例についての詳細な検討結果の報告がなされた。
局所療法を遅らせたことが、登録例に観察された有害事象や早期 PD の要因になっていた可能性は低いと結論できる。
- 神経芽腫高リスクプロトコールとして局所療法遅延型の治療開発の継続を考えている。
- 低リスク・中間リスク神経芽腫プロトコールとして臨床試験プロトコール準備中、5-6 月にキックオフミーティングを予定する。
- JNBSG データセンター(国立成育医療センター内) 2009 年 3 月 1 日から業務開始。

JRSG（日本横紋筋肉腫研究グループ）

- 低リスク群第Ⅱ相臨床試験
登録期間延長 2008 年 4 月を 2012 年 4 月に変更
- 中間リスク群多施設共同研究
登録継続
- 高リスク群第Ⅱ相臨床試験
2008 年 10 月 31 日登録終了
- 高リスク群の臨床試験プロトコールの準備中

JESS（日本ユーイング肉腫研究グループ）

- 全登録例 53 例の解析中
- 次期限局例の治療プロトコール検討中

小児固形がん臨床試験共同機構

全小児がん（血液腫瘍を除く）の共同体制を取るシステム作りが始められている。